



# SUMO + KAGURA

八百万の神々降臨

2022年9月4日(日)

昼公演 13時開場 / 14時開演

夜公演 17時開場 / 18時開演

会場:ビルボードライブ大阪

(大阪市北区梅田2丁目2番22号 ハービスPLAZA ENT B2F)

出演: 浜田石見神楽社中連絡協議会(日本遺産:石見神楽)

両國宏(元大相撲力士・俳優)

豊米家幸輝(太神楽曲芸師) ほか

料金: サービス席 5,000円 カジュアル席 4,000円(全席指定)

◆ローソンチケット Lコード 52194

◆チケットぴあ(セブン-イレブン) Pコード 513-779

◆イープラス <https://eplus.jp/sumokagura/>

配信チケット 2,000円(ストリーミング+にて発売)

◆Streaming+ <https://eplus.jp/sumokagura-st/>



浜田石見神楽社中連絡協議会



豊米家幸輝



チケット購入はこちら

お問い合わせ 日楽座 [hirakuza-info@hcl-c.com](mailto:hirakuza-info@hcl-c.com)

ARTS2  
ARTS for the future! 2

# SUMO + KAGURA

## 八百万の神々降臨

### 出演者(出演団体)のご紹介



#### 豊米家幸輝(太神楽曲芸師)

「新☆伝統芸能エンターテインメント」を標榜し、日本最古の芸能を現代に通用するショーとして魅せる異色の曲芸師。日本一の呼び声高い「土瓶の曲芸」は必見! 高度なスキルと親しみやすい語り口で、寄席小屋をはじめイベントや講演会で活躍中。近年では、海外のTV番組出演を切っ掛けに、外国人向けのショーにも力を入れる。日本を代表するエンターティナーとして駒じめよう、日々、技の研鑽に励む。

#### 浜田石見神楽社中連絡協議会

石見神楽の本場・浜田市内の石見神楽社中11団体が所属。毎秋一堂に会する自主公演はとて人気があり、石見神楽は島根県西部、浜田市を中心とする石見地方で室町時代から古く伝わりとされる伝統芸能で、明治期に神職の手から地域住民の手へ受け継がれ発展を続けております。浜田市は調子の速い八調子神楽発祥の地で、石州和紙で作られた神楽面や大蛇の蛇胴、豪華絢爛な衣裳も浜田市で考案・改良され、周辺地域に広く普及しました。浜田石見神楽社中連絡協議会は1980年に結成され、現在は八調子神楽を継承する11社中で構成し、地元祭礼での奉納を中心に、神楽大会の開催や国内外(アジアやヨーロッパ、アメリカなど)での公演を通じて、伝統の継承や地域振興に大きな役割を担っています。2017年に高円宮殿下記念地域伝統芸能賞の受賞を賜り、また、2019年5月には、文化庁より「石見神楽」を構成文化財とする「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」が日本遺産認定となりました。



#### 両国 宏(俳優)

元大相撲力士、現在は俳優として活動中。芸歴15年、ドラマ・舞台の経験多数。時代劇からヤクザ、マッチョなおカマ役も好演し、多才な演技と鍛えられた肉体、低く甘い声が魅力。テレビ・ラジオのナレーションも務める。

### 演目

#### 太神楽 「獅子舞と曲芸」

江戸時代末期から寄席芸能として広く大衆の人気を集めた日本の総合演芸。獅子を舞わせて厄払いなどの祈禱する獅子舞と種々の曲芸や話芸、おはやしが一体となった総合演芸をお楽しみください。

#### 石見神楽 「大蛇(おろち)」

《登場人物》須佐之男命(すさのおのみこと)、足名椎(あしなづち)、手名椎(てなづち)、奇稲田姫(くしいなだひめ)、八岐大蛇(やまたのおろち)  
《あらすじ》須佐之男命(すさのおのみこと)が出雲の国・斐の川にさしかかると、娘を大蛇に食べられてしまうという老夫婦に出会います。そこで須佐之男命は一計を案じて老夫婦に毒酒を作らせ、これを大蛇が飲んで酔った所を激闘の末退治します。石見神楽の代表演目として世界に賞賛される、日本を代表する一大スケール演目です。